

EXERCISE RULES

VOL.6

3x3 ルールエクササイズ vol.6
(2020年11月1日配信)QUESTION
26

交代要員は審判が交代のシグナルを行い、招き入れた時点でプレーヤーとなる。(○/×)

QUESTION
27

B1がアークの内側にいるA1の持っているボールをスティールし、ボールをクリアせずにそのままバスケットへ向かってドリブルをした。B1がショットの動作に入り、ボールが手から離れる前にA2がコンタクトファウルをし、そのあと手から離れたボールがリングを通過した。このファウルによりチームAのチームファウルは3個となった。審判はB1のショットの得点を認めず、チームBのチェックボールで試合を再開した。ショットクロックは12秒にリセットされる。(○/×)

QUESTION
28

チームAのチームファウルが5個、チームBのチームファウルが6個で、B1はドリブル中のA1にコンタクトファウルをした。その直後にA1はB3を激しく押したため、アンスポーツマンライクファウルを宣せられた。これはA1の1個目のアンスポーツマンライクファウルであった。A1とB3にそれぞれフリースロー2本が与えられ、ゲームは通常の最後のフリースローの後と同様に再開される。(○/×)

QUESTION
29

A1がゴール下でショットを放ち、成功した。B1はノーチャージセミサークル内でボールを保持したが、同じくノーチャージセミサークル内にいたA1はプレーをせず、そのまま立ち続けていた。審判はそのままゲームを継続させた。(○/×)

QUESTION
30

チームBのチームファウル0個で、アークの内側でショットの動作中のA1にB1がアンスポーツマンライクファウルをした。A1のショットは成功した。審判はチームBのチームファウルが2個となったことを確認し、チームAに1点を認め、更にA1に2個のフリースローを与えた。このフリースローではリバウンドのラインナップを行い、ゲームは通常の最後のフリースローの後と同様に再開される。(○/×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、次回映像配信(2020年12月1日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。

<http://www.japanbasketball.jp/referee/>